

おおぞみ



広報 No.197

KOHO OGIMI 2011年 8月号



大宜味

「健康長寿の
いきいき輝く
文化の村」



親子で環境学習 海ガメの放流体験

日時：7月19日(火) 場所：根路銘海岸

村史編纂の基本計画 島袋義久村長に答申

大宜味村史編纂委員会(新城繁正委員長)は大宜味村長から諮問のあった村史の基本計画について、これまで4回の編纂委員会を開催して「村民のための村史づくり」の観点から慎重な議論を重ねてきました。去る6月30日の編纂委員会で答申の基本計画をまとめ、7月19日に村長に答申しました。

今回の村史基本計画は10年計画で10編の村史を発行することになっています。

発行は「大宜味の戦争証言集」「シマジマ」「シマジマ普及版」「人と自然」「移民・出稼ぎ」「民俗・ことば」「写真集」「通史」「村史普及版」「資料編」の順で行う予定です。



島袋義久村長に答申する新城繁正委員長

地域の美しい環境を大切に

～美ら海クリーンプロジェクト～

美しい自然環境を保全する取り組みの一環として7月16日、美ら海クリーンプロジェクト(主催:ぶながやの里クリーンプロジェクト実行委員会)が、道の駅おおぎみをメイン会場に開催されました。清掃活動には村内外から約140人が参加し、根路銘の海岸沿いおよそ2kmを参加者らは二手に分かれて歩き、ゴミを拾いました。ゴミは可燃・不燃・ペットボトル・缶などに分別して収集され、総重量約600kgのゴミが集まりました。

清掃活動に参加した福地楽(らら)さん(喜如嘉小6年)は「海にこんなにゴミが落ちていることに驚いた。今日の清掃活動をきっかけに、地域の環境のことを自分たちの問題として考えていきたい」と話しました。

道の駅おおぎみでは、島袋義久村長も出演した「アイモコの音楽農園環境スペシャル 美ら水プロジェクト2011」(ROK AM10:00~PM13:00)が公開生放送され、清掃活動を盛り上げるとともに、地域の環境を守ることの大切さと呼びかけました。



海岸のゴミを拾う参加者ら

大宜味村国民健康保険税収納対策緊急プラン

国民健康保険税の収納向上対策推進のため、次のことを実施する。

1. 体制について

- ① 大宜味村税等収納率向上対策班(班長:副村長)と連携し、徴税体制を一層強化する。
- ② 住民福祉課職員を動員し、定期的に夜間の電話督促・戸別訪問を実施する。
- ③ 職員の資質向上を図るため、滞納処分等徴収業務や健康保険制度に関する研修に積極的に参加させる。
- ④ 長期滞納者に対する滞納処分(預貯金差押え)業務を検討すること。

2. 滞納者対策、国保(税)制度の理解・周知について

- ① 納付誓約による分納世帯及び短期被保険者証を交付している世帯の納付管理をさらに徹底する。
- ② 収納会議を定期的に行い、滞納事例を重点的に検討することにより、滞納世帯の減少を図る。
- ③ 口座振替を推進し、徴収業務のさらなる効率化を図る。
- ④ 適正賦課に係る事例(国保資格取得・喪失の未届け、所

得税の未申告)について、早期の手続きを促す。

- ⑤ 国民健康保険(税)制度の趣旨・手続きを説明するリーフレット、チラシ等を作成し、配布する。
- ⑥ 昨今の社会情勢等を踏まえ保険税の納付が困難である被保険者には、保険税納付相談に応じる。
- ⑦ 滞納者に対する現金給付(高額療養費、出産育児一時金等)があるときには、申請時に納税相談を実施する。
- ⑧ 通知書が返戻となった者等について実態調査を行い資格の適正化を図る。

3. 滞納整理について

- ① 納付に応じない者に対し、滞納処分を行う可能性がある旨を通知し、納付を強く促す。
- ② 滞納者の財産調査を定期的に行い、調査結果と納付実態を検討したうえで、滞納処分を実施する。
- ③ 転出した滞納者に対しては、早期に滞納処分を検討する。

大宜味村・特定健診受診率の現状は…

○近年、わが国では糖尿病をはじめとする生活習慣病が増加しており日本人の死因の2/3、医療費の1/3を占め大きな社会問題となっています。健康と長寿を確保しつつ医療費の適正化にもつながる糖尿病等の生活習慣病を中心とした疾病予防を目的としてH20年4月から開始された特定健診も4年目をむかえ、次年度、H23年度が最終評価の年となります。健診受診率が65%に満たない場合はペナルティーが課されます。つまり、目標値を達成できなければ支援金の加算が行なわれ保険料の値上げの要因となります…

特定健診受診率の推移

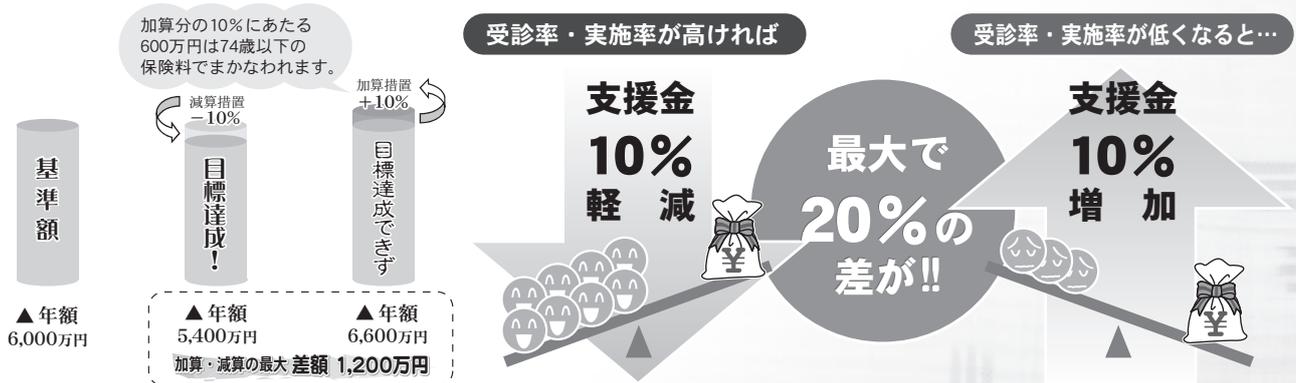
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
受診率目標値	40%	47%	53%	59%	65%
実際の受診率	45.2%	48.1%	46.2%	?	?

H22年度・地区別健診受診率(40～74歳国保加入者対象)

地区名	受診者数	受診率	地区名	受診者数	受診率
田嘉里	42人(83人中)	50.6%	屋古	6人(21人中)	28.6%
謝名城	23人(47人中)	48.9%	田港	20人(44人中)	45.5%
喜如嘉	66人(146人中)	45.2%	大保	16人(35人中)	45.7%
饒波	9人(39人中)	23.1%	押川	16人(25人中)	64.0%
大宜味	26人(37人中)	70.3%	宮城	16人(46人中)	34.8%
大兼久	19人(31人中)	61.3%	白浜	4人(6人中)	66.7%
根路銘	22人(45人中)	48.9%	江洲	28人(49人中)	57.1%
上原	11人(26人中)	42.3%	津波	48人(133人中)	36.1%
塩屋	59人(133人中)	44.4%	合計	437人(946人中)	46.2%

後期高齢者支援金と加算減算措置について？

- 後期高齢者支援金とは、75歳以上の方及び65歳以上で一定程度の障害がある方が加入する後期高齢者医療広域連合に対して現役世代である各医療保険者が負担する支援金のことです。
- 大宜味村国民健康保険の場合、年額約6,000万円となり、特定健康診査の実施率等の数値目標の達成状況により、平成25年度以降に±10%として最大で約1,200万の幅で加算減算措置が見込まれます。



今後の特定健診の日程

もれ者健診 実施月日 8月21日(日) 実施場所 役場第2会議室 受付時間 午前8:30～11:00
(料金等についてはチラシまたは7月号広報誌をご覧ください。)

個別健診 指定委託された医療機関にて、8月より受診できます。

大宜味村立診療所…○予約制 ○月・火・木・金曜日 ○受付開始時間 午前8:30～11:30(朝食抜きで検査実施)
○持参するもの… 国民健康保険証 特定健診受診券 (役場にて保管)

※不明な点がありました役場住民福祉課までご連絡ください。 TEL 44-3003 担当 吉濱 田仲



平成23年度

特別児童扶養手当及び 児童扶養手当現況調査について

手当受給にあたり、毎年8月は現況届及び所得状況の届出が義務づけられています。下記のとおり実施しますのでお知らせします。
また、現況届を提出しないと8月分以降の手当てが受けられなくなりますので、必ず提出してください。現況届を提出しないまま2年を過ぎると、時効となり手当てを受ける資格がなくなりますので、ご注意ください。

1. 日 時 平成23年8月15日(月)～19日(金)
時間：9時～17時(12時～13時は除く)
2. 場 所 大宜味村役場 住民福祉課 (TEL 44-3003)

※提出書類等の必要事項は、事前に対象者へ通知します。

▶ ファミリーサポートセンター

『サポート会員養成講座』について

働いているパパ・ママにとって子育てにおける緊急的ニーズに対応してもらいながら育児と仕事の両立ができることは安心して生活していく基盤となります。その中でファミリーサポートセンター未設置地区において地域の子育て支援活動を行う「サポート会員」の養成を目的に講座を開催します。一緒に子育て応援してみませんか？

日 時：平成23年8月24日(水) 25日(木) 26日(金) 9時～17時

場 所：名護市中央公民館研修室

受 講 料：無料 (託児あり 無料事前申込必要)

内 容：小児看護の基礎知識・保育のこころ・子どもの遊びとオモチャ作り・子どもの栄養・読み聞かせ などなど

申込締め切り：平成23年8月20日まで

問合せ先：ファミサポネットおきなわ北部センター TEL&FAX 0980-43-0232

キクの生産農家の皆様へお知らせ

沖縄県と大宜味村では、東日本大震災におけるキク生産農家支援として<キク再生産緊急支援事業>を下記を対象要件に実施します。

1. 実施期間：事業実施期間平成23年度のみとする。
2. 事業実施主体：市町村とする。
3. 補助率：補助率は10/10(県負担1/2、市町村負担1/2)
4. 対象農家：対象農家は、キク農家(輪ぎく、小ぎく、スプレーギク生産農家)で、平成23年3月1日から3月31日に出荷したキク生産農家で、かつ、時期作の11月、12月出荷に向けた作付けする菊生産農家を対象とする。経営上に3月出荷のみを対象にキク生産する農家は、3月出荷する作付け面積に対し、時期作に向けた再生産の取組とする。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

大宜味村選挙管理委員会
TEL 44-3001

【お問い合わせ】
【場所】大宜味村役場第1会議室(庁舎2階)
【時間】午後2時～
【期日】平成23年8月11日(木)
平成23年9月4日(日) 執行予定の、大宜味村農業委員会委員選挙の立候補予定者説明会を左記のとおり開催しますので、立候補予定者のご出席を宜しくお願いいたします。

大宜味村農業委員会委員選挙立候補予定者説明会

お問い合わせ 大宜味村産業振興課 TEL44-3232・FAX44-3999

カンキツグリーンニング病(HLB)の新規防除事業について。

これまでカンキツグリーンニング病の対策については、国・県・大宜味村の連携によって進められてきました。

その一つは侵入警戒調査事業による病気の発生が確認されていない地域を守るためその地域へ罹病樹の持ち込みやミカンキジラミの侵入を警戒している事業です。

今年度は、さらに防除のスピードを上げるために新しい事業を展開します。新しい事業では、これまでカンキツグリーンニング病の発生が多く確認されている集落地域を対象とし、罹病樹の調査と伐採を素早く行います。

実行部隊は沖縄県から委託された北部カンキツグリーンニング病対策室(仮)です。彼らは現在既にこれらの活動を開始しています。

①巡回調査を行い、カンキツ類の分布調査を行います。②疑わしい植物のサンプルを採取し、検定を行います。③検定によって罹病樹と判定されたらマーキングを行い、伐採の交渉、伐採、伐採残さの処分を行います。これら一連の工程を対策室がシークワサー振興室と連携を取りながら行っていきます。近いうちに皆さんの集落で調査を行いますのでご理解・ご協力をよろしくお願い致します。引き続き住民の皆様からの病気等の情報提供もお待ちしています。

詳しい話はシークワサー振興室まで
0980-44-3084

農業共済の加入についてのお知らせ

農業共済事業は、農業災害補償法に基づき、台風や病害虫等の不慮の災害により損害を受けた農家に対し、その損失を補填して農業経営の安定等を図ることを目的とする公的な保険事業です。今年度は、早々に台風による農業被害があり、これから秋にかけても台風による被害等が予想されます。大宜味村でも、8月～10月までを農業共済加入促進期間として推進していきますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

農業共済組合連絡先

TEL 098015214082
FAX 098015314960

国頭郡農業共済組合

平成24年度 沖縄県農業大学生募集についてのお知らせ

沖縄県立農業大学校では、平成24年度農業大学校生を募集致します。また、高等学校既卒者を対象とした特別推薦入試(市町村長推薦)における適格者の推薦もごさいます。

○本科(修業年限:2年)

- 願書受付期間
推薦・特別推薦入試 平成23年9月1日(木)～10月28日(金)
一般入試 平成23年11月1日(火)～12月19日(月)
- 試験日
推薦・特別推薦入試 平成23年11月16日(水)
一般入試 平成24年1月17日(火)

○短期養成科(修業年限:1年)

- 願書受付期間
特別推薦・一般入試 平成23年11月1日(火)～12月19日(月)
- 試験日
特別推薦・一般入試 平成24年1月17日(火)

出願書類の提出・お問い合わせ

沖縄県立農業大学校 〒905-0019 名護市大北1-15-9
TEL 0980-52-0050 FAX 0980-54-2853

～メッシュ・サポートからのお知らせ～

MESH救急ヘリ継続運航にご協力ください!

日頃より民間救急ヘリMESHへご理解とご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

MESHは北部地域の救急医療改善の為、活動を続けてまいりましたが(※)、資金不足により本年10月以降、活動継続が難しい状況となってきました。「いざ」という時に安心できる医療環境にするには、地域住民の皆様による「継続的なサポート(年間会員制)」が必要です。ご無理のない範囲内でのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



▲救急現場に「一瞬でも早く、一寸でも近く」到着することが救命率の向上に繋がります。

継続的なサポート(年間会員制)が必要です。ご無理のない範囲内でのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

※2007年6月16日の運航開始から2011年7月20日までの総出動件数は535件、スピーディーな現場到着と初期治療により、多くの命をお救いしてまいりました。

【お問い合わせ】メッシュ名護事務所 電話:0980-54-1006

やる一よ献血

今!! 400mL献血が多く求められています。

期 日 平成23年8月19日(金)

時 間 14:00～17:00

場 所 大宜味村役場 第2会議室横

皆様の力で一人でも多くの患者さんを救ってください

前日は睡眠5時間以上・当日は食事を摂ってご協力お願いします

問い合わせ先

沖縄県赤十字血液センター献血推進課 ☎(098)834-3201

沖縄県福祉保健部薬務疾病対策課 ☎(098)866-2215

田嘉里お助け隊 植栽報告

去る7月3日(日)、田嘉里区民によるボランティアグループ「田嘉里お助け隊」が、同区内でツバキ150本とツツジ30本の苗の植栽を行いました。

「平成22年度全島緑化県民運動 グリーンコミュニティ支援事業」へ申請をしたことにより、これらの苗は無料で提供され、この日参加した25名の手で植えられました。

これまでも、河川の掃除や、台風後の片付けに困っている一人暮らしのお年寄りを手助けするなど、様々な活動を行ってきたお助け隊。今後も、植栽した苗の管理をはじめ、部落全体の奉仕活動に取り組んでいきたいと張り切っています。



植栽を前に清掃活動を行う「田嘉里お助け隊」のメンバー

第21回 やんばる駅伝 伊是名島大会



第21回やんばる駅伝伊是名大会が6月18日、伊是名村で開催されました。北部12市町村と与論町・知名町(今回日程変更により不参加)の計15チームが30度を超す暑さの中、トップが激しく入れ替わり8区で先頭に出た宜野座チームが激戦を制し初優勝しました。

区間賞を獲得する走りを見せた平良長真さん

大宜味村チームは、1区知念美怜さんで8区につけ2区エース平良長真さんが区間賞の走りでトップに立ち3区へ中継しました。3区以降順位を落とすことになりましたが、新人選手の福田真さん・知念美琴さんの活躍により最終的に昨年13位から9位と順位を上げました。閉会式においては、大城竹広さんが5回連続出走の表彰を受けました。

1区	女子	知念美怜	区間	8位
2区	一般男子	平良長真	区間	1位
3区	一般男子	大城竹広	区間	13位
4区	40代	照屋政重	区間	12位
5区	一般男子	福田真	区間	7位
6区	50代	山川清	区間	10位
7区	女子	知念美琴	区間	4位
8区	30代	大城武	区間	12位
9区	一般男子	新里直樹	区間	10位
監督		東武久	コーチ 松川隆行	

新エネルギービジョンコラム
 エネルギー問題と地球温暖化問題
 本村で新エネルギービジョンを推進する中、我が国を含む全世界が、現在のペースで化石燃料を使い続けると、それぞれの化石燃料がおおよそ50年〜200年前後で枯渇すると予測されています。また、化石燃料を燃焼することによって発生する二酸化炭素・窒素などの増加が地球温暖化など環境問題にも大きな影響を及ぼしています。
 持続可能な地球環境をつくりだすために、大宜味村においても、村の環境に適した新エネルギーを積極的に推進し、また、村民一人ひとりが省エネルギーの推進を図ることが大事です。

村バスケットボール大会 大兼久が4連覇

大宜味村バスケットボール大会が7月9日、大宜味小学校で開催され白熱した試合が繰り広げられました。今年は昨年より参加数が1チーム増えた4チームでトーナメント戦を行い、会場には各応援団が大勢駆けつけました。
 大兼久対塩屋で行われた決勝戦は、接戦した試合展開となり、最優秀賞に選ばれた仲原翼選手(大兼久)が終了間際に得点を決め42対40で大兼久が試合を制し、見事4連覇を達成しました。



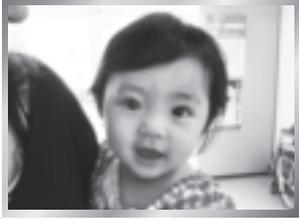
大兼久チームメンバー

満1歳お誕生日おめでとう!!

(ツツカー祝い)

☆世界にたったひとつだけのスマイル! ☆

輝く未来の大宜味っ子!



ひなの
神里 陽菜乃 ちゃん
(根路銘)

明るく・元気で・素直に
すくすく育つてね

国吉設計職員一同は7月14日、東日本大震災のための義援金5万円を村役場に託しました。義援金は、同社に設置した義援金箱に職員が貯めたもので、村出身で同社に務める照屋ひとみさんは「少しでも力になればと、職員一人ひとりが協力してくれた。役に立ててもらえればうれしい」と話しました。

国吉設計から義援金5万円

村の人口

6月末現在

男 1,739人 (±0)

女 1,650人 (-2)

計 3,389人 (-2)

世帯数 1,656世帯 (-5)

出生 3人 転入 9人
死亡 4人 転出 13人

※注()内数は対前月比

大宜味村夏まつりプログラム

8月6日(土)

- 17:00 オープニング
- 17:15 喜如嘉保育所・塩屋保育所 ステージ
- 17:45 のど自慢カラオケ大会
- 18:30 大宜味村婦人会 ステージ
- 19:00 八千姫 ステージ
- 19:20 大宜味村青年会 ステージ
- 19:40 SOMETHING FOUR ライブ
(サムシングフォー)
- 20:10 All Japan Goith ライブ
(オールジャパンゴイス)
- 21:00 1日目終了

8月7日(日)

- 13:00 小学生ハーリー、一般ハーリー
ヒージャー争奪綱引き大会予選
- 16:30 デイサービスおおきみバンドライブ
- 17:00 老人クラブ若松会
大宜味村民踊愛好会 ステージ
- 17:20 いさお名護支部
- 17:30 栄町おばあラッパーズライブ
- 18:00 アイモコライブ
- 19:00 ヒージャー争奪綱引き大会決勝
- 19:30 アンガーベーチンライブ
- 20:15 花火
- 20:30 エイサー
- 21:00 全日程終了

8月

8 August 9 September 大宜味村カレンダー

1 月	◆区長会 ◆プール開放・水泳教室
2 火	◆水泳教室
3 水	◆プール開放・水泳教室
4 木	◆海外短期留学生帰国・プール開放・水泳教室
5 金	◆プール開放・水泳教室
6 土	◆村夏まつり (～7日)
7 日	◆E S L キャンプ (～15日)
8 月	◆R E P キャンプ (～13日)
9 火	
10 水	
11 木	◆大宜味村農業委員会委員選挙 立候補予定者説明会 14:00～ 大宜味村役場第1会議室 (庁舎2階)
12 金	◆旧盆 (ウンケー)
13 土	◆旧盆 (中の日)
14 日	◆旧盆 (ウーケイ)
15 月	終戦記念日
16 火	
17 水	◆わんぱくキャンプ (～18日)
18 木	◆法律・行政合同相談 13:30～16:30 (旧法務局)
19 金	
20 土	◆郡バスケットボール大会 (～21日)
21 日	◆郡球格技大会 ◆住民検診 (AM:もれ者健診) ◆家庭の日

22 月	◆サマースクール (塩屋小)
23 火	◆サマースクール (塩屋小)
24 水	◆塩屋湾海神祭 (～25日)
25 木	◆短期留学報告会・E S L キャンプ報告会
26 金	
27 土	
28 日	◆郡サッカー大会
29 月	
30 火	
31 水	
9月 September	
1 木	◆区長会 ◆始業式 (幼稚園・小学校・中学校)
2 金	
3 土	◆わんぱく体験団
4 日	◆P T A 美化作業 (大宜味中)
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	◆村P T A 運営委員会
10 土	

むかしやんしえったん

2組あつたこもだちの木

まだ舗装されていないイザジキミチ（辺土名高校から喜如嘉入口の直線道路・インブイドーともいう）を、土煙を上げながら走ってゆく外国の高級車―1963年（昭和38年）3月29日大田政作行政主席視察の折に撮影された貴重な写真。（沖縄県公文書館）道路の右側に電柱が並んでいるが、大宜味村に電気が通るのは1968年（昭和43年）（注1）であるから、これは電話のための電柱か！

右側通行の車が、アメリカ世（ユー）を偲ばせる。その後、1972年（昭和47年）の本土復帰を経て、交通区分変更（1978年（昭和53年）で、車は左・人は右）に変わり、だんだん、ヤマト世（ユー）へと時代は移ってゆく。

ともだちの木が2組あるのが確認できる。現在はきれいに舗装された道に手前の1組だけが時代の流れを見守っている。

注1：村史年表1968年（昭和43年）8月1日「電力公社北部四ヶ村点燈祝賀会、津波・宮城・白浜、点燈」とある。

村史編さん室



村内あれこれ

辺土名高校放送部 ラジオドキュメント部門で全国NHK杯準決勝進出



辺土名高校放送部の玉城祐太郎君（3年）、山城真梨奈さん（3年）、野里雅天君（1年）の3人が製作した『プレイバック』（ラジオドキュメント部門）がこのほど、第58回NHK杯全国放送コンテストで準々決勝200作品中、上位40作品に残りました。準決勝進出からは東京への派遣があり、7月26日の大会を控えた7月19日、村から3人に人材育成助成金が贈られました。平良宏教育長は、「派遣おめでとう。最後まで自分たちの取り組んできたことを発表して欲しい」と激励しました。

元気いっぱいヤマシッ子夕涼み会



第31回ヤマシッ子夕涼み会が7月21日、塩屋保育所で行われ、かわいい所児たちが日頃の練習の成果を家族や地域住民に披露しました。会場には「心豊かにやさしくたくましく」「友達想いの優しい子」といった保護者の願いを込めたのぼり約20本が飾られ、「ヤマシッ太鼓」や今、大人気の「マルマルモリモリ」など、子ども達のかわいい踊りに盛り上がりを見せていました。

自然に囲まれた空間でものづくり体験



自然豊かな環境でものづくりや工芸に親んでもらおうと「せせらぎのカハピラ」（主催：螢窯、ていーがんまる）が6月25、26日の両日、螢窯（じんじんよう）～大宜味・田嘉里で開催されました。ろくろ体験、山の素材を使った紙漉きなど多くの体験コーナーが設けられ、子どもたちは工芸家や地域住民らから教わりながら、楽しそうにものづくりを体験していました。主催者の一人である山上晶子さんは「作っているところを実際にみてもらい、工芸を身近に感じてもらいたい。将来的には、工芸家を育て、産業につなげたい」と話してくれました。

和気あいあいとぶながや夕涼み会



第31回ぶながや夕涼み会が7月8日、喜如嘉保育所中庭で開催され、わが子や孫の踊りを見ようという父母や祖父母、地域住民が大勢詰めかけました。会は、所児らの元気いっぴいの踊りやゲーム大会のほか、ゲストとして招かれた大嶺劇団の團員らによる「琉人しおや〜」の劇が披露され、子ども達だけでなく、保護者らも一緒になって楽しみました。また、東北の一日も早い復興に願いを込めて、保護者一人一人がメッセージを寄せ、出店の売り上げの一部は寄付に充てました。